

分野：⑧3R

## (身近なエコに取り組もう)

環境アドバイザー

神山 裕則

対象

川口市立在家小学校4年生(63人)

所要時間



2時間

場所

芝川の土手

実施時期

令和2年 2月8日

## 概要

燃えるゴミ、ペットボトル、鉄などと分別しながら。  
 沢山のゴミが捨てられていることに、きづく。  
 自然、特に鳥を見つけよう。

プログラムの  
ねらい

ゴミは、混ぜれば捨てられるが、分別すれば再利用できることを知る。  
 鳥たちが、どんなところに集まっているか知る。

## プログラムの内容

## 1. 導入

注意事項を確認。

(必ず、トングで拾う。車に気をつける。)

冬に見られる鳥の探し方

双眼鏡の使い方説明

## 2. どんなゴミが多いか気をつけてみる。

たばこの吸い殻が道路部分に多かった。

ペットボトルや缶コーヒーの缶は、土手の  
 斜面に多い。

テントや絨毯まで捨てられていたのには、  
 びっくり。

鳥は、オオバン・ツグミ・ドバト・ムクドリ・ハクセキレイ・モズ・ユリカモメなどが見  
 られた。

## 3. まとめ

鳥が、草むらでえさを採っているのが見られた。

「芝川をきれいにしよう」と始めた取り組み、重量を量ってみると、  
 140キロもあった。



## 受講者の反応

カモメが飛ぶのを初めて見た。オオバンが、群れていてかわいかった。

想像以上にゴミが多いことに気がつく。

まだ、予定まで行かなかったなので、もう一度ゴミ拾いをしたい。